



【韓国】 総合指数は週間で 1.7%安と反落、米税制改革法案可決で売り広がる

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.7%安と反落。総じて売り圧力の強い展開だった。週明け 18 日に反落して始まると 21 日まで 4 日続落。欧米株高などが相場を下支えする場面もみられたが、米税制改革により韓国から米国へ投資資金が流出するとの警戒感が投資家心理を重くした。特に米上下院で税制改革法案が可決された後の 21 日はサムスン電子や SK ハイニックスなどの大型ハイテク株を中心に大きく下落し、今年 9 月 29 日以来、約 3 カ月ぶりの安値で引けた。22 日は買い戻しが入った。今週は 25 日が聖誕節（クリスマス）で休場。安値拾いの買い戻しが入りやすい状況だが、年末年始の連休も控えており、積極的に持ち高を傾ける動きは限られるか。27-29 日に消費者信頼感、鉱工業生産、消費者物価指数が発表される予定。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は週間で 1.1%安と反落、今週は引き続き弱含むか

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で 1.1%安と反落。週明け 18 日はプラスで寄り付き、上値を伸ばしたが、引けに掛けてマイナス圏に転落し、その後は週末まで軟調な展開。米税制改革法案の成立を見極めたいとの投資家心理が買いを手控えさせた。先週発表された経済指標では 11 月の失業率が 5.1%と前回から横ばいだったものの、11 月の小売売上高が前年同月比 2.7%増と市場予想の 3.3%増、前回の 3.0%増を下回り、指数の重しとなった。一方、ブレント原油価格が週間でおおむね堅調に推移したことが相場を下支えした。22 日には前日に 1120 ドル前半半まで下落していた RTS 指数が反発。ブレント原油価格が 64 ドル台後半で推移したことが好感され、前日比 0.8%高の 1135.70 ドルで取引を終えた。今週は引き続き弱含む展開か。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 1.8%高と 3 週ぶり反発、今週も堅調な展開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.8%高と 3 週ぶりに反発。米国の税制改革法案の可決に伴う米株の最高値更新を受け、海外投資家の心理が好転し、ベトナム市場でも買い優勢の展開。原油高を背景にエネルギー株の一角が上昇したほか、金融、不動産、食品など主力銘柄が買いを集めた。週明け 18 日はプラスで寄り付いた後に一気に上昇し、958.06 ポイントの高値引け。19 日には 12 月 5 日以来の 960 ポイント台を回復した。その後は高値圏でもみ合いとなり、22 日は前日比 0.7%高の 952.32 ポイントで週の取引を終えている。個別ではサイゴンビールが 18.8%安と指数を押し下げたものの、前週まで 2 週連続で 10%超下落していたファロス建設が 18.3%高と反発、ベトナム外資銀行が 10.4%高と指数を押し上げた。今週も引き続き堅調か。

▼指数チャート





【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.7%高、フィッチの国債格上げを好感

ジャカルタ総合指数は週間で 1.7%高と 3 週続伸。前週の勢いを維持し、おおむね好調に推移した。週前半は大型株が指数上昇をけん引し 19 日まで 6 営業日続伸。20 日は利益確定売りで反落したが、21 日はフィッチ・レーティングスがインドネシア国債の格付けを外的ショックへの耐性が強まったことを理由として「トリプル B」に 1 段階引き上げた効果で前日比 1.2% 高と反発した。22 日はエネルギー株と金融株が買われて、終値ベースで 6200 ポイントに到達し、過去最高値を更新して取引を終了。今週も国内の経済指標発表が少ない中、上昇基調が継続するかが焦点になる。25-26 日はクリスマスの祝日で休場。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.9%安、今週は 11 月の CPI と鉱工業生産に注目

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.9%安と 3 週続落。前週後半から下げ止まらず、じりじりと下値を広げた。週初の 18 日は前週末の NY ダウが過去最高値を更新したことや、11 月の非石油地場輸出が市場予想を上回ったことが買い材料にならず売り優勢でスタート。20 日に終値で約 2 週間ぶりに 3400 ポイントを割り込み、21 日まで 6 営業日続落となったが、22 日には金融株を中心に買い戻しが入り、小幅に反発して週の取引を終えた。今週は 26 日に 11 月の CPI と鉱工業生産が発表される予定。鉱工業生産は前年同月比の伸び率が 6 カ月連続で 2 桁を維持するかが注目される。25 日はクリスマスのため休場。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.4%高、22 日に 1994 年 1 月以来の高値を更新

SET 指数は週間で 1.4%高と 4 週続伸。好地合いの中、堅調な値動きが続いた。週半ばまでは前週の勢いを引き継ぎ続伸。20 日は中央銀行が金融政策決定会合後に発表した声明で、タイ経済が予想を上回るペースで拡大するとの見方を示し、今年の GDP 成長率の見通しを 9 月時点の 3.8%から 3.9%に上方修正したことが好感された。21 日は 11 月の輸出（通関ベース）が前年同月比 13.4%増と市場予想から上振れたものの、指数は小幅に 7 営業日ぶりに反落。ただ、22 日には買い戻され、終値で 1994 年 1 月以来の高値を更新して引けた。今週は 28 日に 11 月の鉱工業生産、29 日に 10 月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.4%高、今週はお化粧品買いの継続に期待

クアラルンプール総合指数は週間で 0.4%高と 4 週続伸。週半ばからの上昇が奏功した。週前半は買い材料に乏しく 19 日まで 3 営業日続落したが、20 日は年末に向けたお化粧品買いに加え、目前に控えた米税制改革法案の下院での再採決で可決がほぼ確実となったことが好感されて指数は反発。21 日はペトロナス・ガスが買われて続伸すると、22 日は中央銀行が発表した今月 15 日時点での外貨準備高が堅調に増加したことを受け、3 日続伸して取引を終了した。今週は国内の経済指標発表が少ない中、米国の原油増産懸念の低下による先物価格の上昇と為替相場の安定が続けば好材料。25 日はクリスマスで休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。